

5. 学生の意見と大学からの回答

区分	意見	大学からの回答
授業について	<p>結局何を伝えたかったのかわからなかった。もっと例を出して憲法にそっているいろいろな視点で解決していくような授業をすればどうだろうか。あと理学部から弁護士になる人より教師になる人の方がこの授業を多くとっています。なのでもっと教育よりの法律を扱ってくれた方がわかりやすい。</p>	<p>わかりやすい授業を、というご意見は担当教員にお伝えします。ただ「日本国憲法」は日本国民の最も基本的な市民的教養です。教職科目に指定されているのもそういう広い意味においてです。別の言い方をすれば教職科目である以前に、法律としての憲法を知ることが目的であることをご理解ください。</p>
	<p>途中退出する人や授業にきて遊ぶ人への対策が欲しい。</p>	<p>授業の妨げになるような行為に対し、注意喚起を行うのは教員の仕事ではありません。ただ最近では口頭で注意する程度では効果がないケースも生じてきているようです。また授業中に教員が何度も注意したり大声をあげたりすると、教室の雰囲気も悪くなり、授業の進捗にも悪影響が出てきます。日常見られがちな光景ですが、教員サイドでの対応は意外に難しい問題です。大学としての取り組みとしては、FD(教員の資質開発研修)のテーマとすることが必要かもしれません。ただ基本的にはこれは学生さん自身の問題であることも認識してください。或る大学では学生自身がこの問題への対応を話し合い、授業を妨げる行為をする学生に対し、学生が注意をする、という試みを行っていると聞きます。ただこれも難しい問題をはらんでいますから、いきなりというわけにはいかないでしょう。やはり大学と学生がよく話し合い、対処の路を探る必要があります。そうした話し合いの場を設定することも検討してみましょう。</p>
	<p>講義中、さわがしいことがよくあります。生徒の責任でもありますが、気づいたら厳しく注意してください。全く集中できません</p>	
	<p>生徒の話し声がとてもうさくて、授業での先生の声やビデオの声が聞こえにくく、大変困りました。(いつまでもおさまることはなく、少しの間しか静かではなかった)授業中の携帯の使用が残念に思えた。(数人だけ)</p>	
	<p>忙しい為、仕方の無いことと思いますが、教員が遅れたり休んだりしたことが何度かありました。</p>	<p>意見の出された授業が実際にどうであったかはさておき、一般的に各授業担当教員に対して、学生からこのような意見が出ることはないよう、きちんと授業に臨むことを、共通教育センターとして改めて要望します。</p>
	<p>教科書の内容と全く同じことを書くだけの板書は意味がないと思う。説明が聞きとりづらすぎる。授業の進捗に関して教授が勝手に納得しているだけで学生のことを無視した授業だと感じた。</p>	<p>板書については、授業内容の理解に結びつく“道具”の1つと言えますので、下線を入れる、チョークの色を変える、部分的に文字を大きくする、等の工夫を各教員毎に行っているものと思います。工夫が十分ではない、ということもあると思いますので、教員への呼びかけについても検討したいと思いますが、中間アンケートを利用して、学生からも板書についての要望(キーワードを強調して書いてもらうと、復習の際に分かりやすい、等)も伝えて下さい。なお、聞き取りづらいということに関しては、大人数の講義などを中心に、マイクの使用をお願いするように努めたいと思います。</p>
	<p>教員の教え方に問題がある。数式の証明ばかりして肝心の問題は1問も解かない。学生の反応を見ようとしていない。1人で授業している状態である。</p>	<p>かなり感情的な表現と見受けられます。教員との意思疎通が図れていない結果でしょうか。しかし、大学の数学では、数学的・論理的な思考方法を身につけることが主眼ですので、「演習問題の解き方」ではなく「数学的理由(証明)」が最も理解すべき対象です。従って、本件の場合、教員側だけでなく、学生側の意識にも問題を感じます。当該教員が授業改善へ向けて一層の努力をするのは当然ですが、学生の皆さんも中間・期末という2段階の授業アンケートにおいて、担当教員が実際に授業改善を図れるような具体的な意見を書くように心がけて下さい。</p>
<p>スポーツ【夜間主】 着替えをする時間を配慮してほしい。(いつも次の授業がギリギリだった。)</p>		<p>本件のように、10分の休み時間内に着替えや講義室の移動を伴う授業では、教員・受講生双方とも相応の配慮・対応が必要であると考えられます。教員は着替え時間に配慮した授業設計を、また受講生は与えられた時間内で着替え・移動を行う自己努力をするようお願いいたします。</p>
<p>複数教員担当の授業</p>	<p>複数の教員による講義の中で、興味をもった話題が1つしかなかった。ほとんどが画像や文章を用意してスクリーンに流しただけで、何かを伝えたいとか、トピックに対して深く考えさせたいというような思いが全く伝わってこなかった。つまらない。共通教育は消化試合のようなもの。</p>	<p>受講した授業に対する個人的感想はいろいろあろうかと思いますが、ただ本意見についてはいくつか気になる点がありますので、それらについて授業を運営する立場からコメントしてみます。「興味をもった話題が一つしかなかった」とのことですが、あなたの興味・関心のありようについて一考してみる必要はありません。大学の授業はあなたの興味に焦点を合わせるのではなく、あなたの関心を広げてもらうことを目的としています。客観的に見て大切なテーマはいくつもあり、それらについての理解を深めることは、あなたにとって決してマイナスではないはずです。「つまらない」、「共通教育は消化試合のようなもの」という感想はあなたの実感かもしれませんが、同じ授業を受けた諸君の多くは必ずしもそのように捉えていないようです。あなた自身の知を高めるためにも、科学の営みを通して獲得された知に対し、もうすこし前向きに、また謙虚なスタンスで向き合ってみることを考えてみてください。</p>

区分	意見	大学からの回答
複数教員担当の授業	2人の先生で行なっているのですが、もう少し息を合わせてほしい。	担当教員に確認したところ、2人の教員が授業開始以前に打ち合わせを行い、互いの了承のもとに、毎回の授業の終了後に、すでに実施した授業内容をメールで伝え、相互の連携を密接に図っているということでした。ただ学生からの補足意見として、「簡単な箇所を2回繰り返したり、難しいところが少なかったりした」との指摘があったとのことで、本意見はこのことと関係しているかもしれません。この点について補足しておきますと、教科書の反復は学習上非常に重要であることを強調するためであり、皆さんには復習を兼ねて再確認してもらうことがねらいとのことです。また難しい箇所の説明不足は重要な指摘であり、今後留意したい。学生の皆さんには、授業中や授業後に質問等受け付けていますから、是非遠慮なく教員に質問等をしてもらいたいとのことでした。
授業の難易度	ネットで課題を出すのは環境が整っていない人には厳しい。	個人ではまだネット環境が整っていないことは考えられます。しかし愛媛大学としては各学部や総合メディアセンター等にネット環境を用意しております。ネットでの課題は時間的にかなり余裕をもって予めお知らせしていますから、大学が用意した環境を是非利用してください。
TAIについて	TAIによって教え方が違うので実験の終わるスピードがまったく異なる。TAのレベルが違う。	学生実験では受講者が主体的に実験を行うことが求められています。TAはあくまで実験のサポートを行う立場にあり、TAの指導に頼りすぎず、実験内容の事前確認など時間外学習をしっかり行うことが重要です。TAは大学院生であり、ティーチング技術の面では彼らも学習中の立場にあります。そのため担当教員によるティーチング面での教育・指導が行われている途上にあります。また、教育・学生支援機構では、新任TA研修会やTAランチタイムセミナー等を通じて、TAの指導力向上に努めております。
J-supportについて	J-supportの人をもっとふやしてほしかった。	「J-supportを増やしてほしかった」との意見ですが、1対1対応をしたかったのですが、本年度前期については、サポートに興味のある日本人学生が自分自身の授業と重なり、時間的余裕がなかったことに加え、受講生数も多かったことがあり、なかなか対応できなかったという状況です。後期は受講者も減り、日本人学生も授業と重なる人があまりいないため、十分対応できる見込みです。今後、受講者数が増えた場合、どのように対応していくか課題ですが、現時点では、サポーターの登録数を増やしていく方向で努力しているところです。

【プラス部分についてのコメント】

教員が生徒の意見を尊重、参考し、コミュニケーションを取ろうという姿勢が見受けられ、好意が持てた。
常に改善を心がけてくださり、教員の配慮を強く感じた。
大学に入ってすぐにこのような授業が受けられるとっていなかったのがよかった。この授業を取っていることで、モザンビーク大統領訪日や中四国環境教育ミーティングにも参加しやすかった。
知識を得るだけの授業でなく、自分の心についても再認識できる内容で、本当にためになりました。
昨年、授業が分かりにくかったという意見から先生方がその点を改善されて、今年はとても丁寧でテンポも速くなく、自分にとって丁度良い授業でした。
先生がひんばんに質問用紙をくばりしっかり質問に答えていた。授業改善も、悪いところがあれば直そうとして説明をしたりしていた。よかった。
この授業では、グループ発表の直後に先生が何かひとことコメントを入れてくれるので、それがやる気にもつながったし、自分を客観的にみることもできたしよかった。
改めて高校の内容を復習できたのでとても役に立った。大学に入ってから、高校での内容を忘れてしまって授業について行けなくなる人が多いと聞くのでこれからもこの授業は続けていくべきだと思う。
数学の基本をていねいに教えてもらえて、多少レポートが多く大変だったが、自分の弱点を見つけてある程度克服できたので、とても有意義な授業であったと思う。レポート返却の時間はちょうどよいと思う。
わかりやすい。話がおもしろいから飽きない。板書もわかりやすい。先生が明るい
たくさんの果物の知識を得ることができました。発表することでプレゼンテーションの発表の練習もできたり、資料作成の時ではワードの練習もできました。とてもたのしい授業でした。
何を聞いても答えていただいたのでとても勉強になりました。J-surpportの人も来ていただいているような会話ができて良かったと思っております。
ほぼ毎回小テストがあったので、前の授業の内容の復習にもなって助かりました。毎回出される小テストと宿題は後期でも続けて欲しいです。
音楽や映画を用いて、韓国語をより身近なものにしてくれた。毎日、何か1つ新しいものを学んでいくのがうれしくて、学習の意欲が湧いてきました。
教員の話しが今後の進路を考える上で大変参考になった。
すごく面白かったし、新たな自分の発見にもなりました。教職とスポーツのつながりもとてもハッキリさせてくれて良かったです。熱中症の講義もあったのがとてもためになりました。
教科書などの文章だけではわからなかった(イメージできにくかった)事が実験で実際行うことでより理解を深めることができた。
少人数で行動しやすく、また、教員やTAが素早く適切に助言してくれた。
授業後一時間くらい質問に答えてくれて、とてもうれしかったです。
毎回のレジュメはとても見やすく、また授業はとてもおもしろかった。説明は詳しくて話し方もおもしろく、学生によく話しかけていて良いと思った。